

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス にしはら太陽の子		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日 ～ 令和6年 12月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 25日 ～ 令和6年 12月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間、保護者との間で児童の特性等、情報共有が図られている	◎SNSを用いて、保護者・職員と画像共有している ◎土曜日・祝日・長期休み以外の平日13：30～14：00の時間帯に支援会議を毎日開催している	◎家族支援加算を活用し、就労を見据えた情報交換を行っていく ◎各種マニュアルは策定しているが、保護者に対する周知が不十分である
2	ひとりひとりに合った支援を心掛けている	◎多めに課題を用意し、児童に自分でどの課題をするか決めてもらう。 ◎過去のプログラム記録を確認しながら、参考にしたり改善につなげている ◎担当制を導入し、毎回同じ職員が担当にならないようにローテーションを組んでいる	◎ワンパターンになってしまう傾向もあるので、ネットや他の事業所との情報を取り入れていく ◎児童が自己選択したことを尊重し、自己決定出来るように支援していく ◎支援プログラムの種類をもっと充実していく
3	児童に色々な経験を実施させている	◎年間行事計画を毎年見直し、なるだけ行事が重複したり繰り返しにならないように工夫している	◎児童ひとりひとりのイメージにとらわれず、出来ることを増やすために、精神的に無理のない範囲で経験を積み重ねていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンできる部屋がない	◎法的な面積は確保されているが、他児と距離を置くため（大きな音が気になったり、落ち着かない時）の部屋がない。そのため男女更衣室を活用しているが、十分とは言えない	◎旧児童センター内に移転しているので、面積的な配分を含めた計画が必要である
2	他事業所等との連携が少ない	◎以前は新型コロナの影響が考えられていたが、今後は感染状況に注意しながら開催していく	◎他の事業所が開催する研修会や親睦会に、機会があれば積極的に参加していく
3	保護者と交流する機会がない	◎新型コロナの影響で開催できるタイミングがなかった ◎以前、相談会を試みたが、あまり保護者が集まらなかった。	◎感染状況を十分に注意しながら、オンラインでも可能かどうか検討する ◎具体的にどのような交流する方法があるか、保護者とも相談する